



うちだ ひろのり 議員
内田 裕紀

質問

地域ケア会議の必要性は

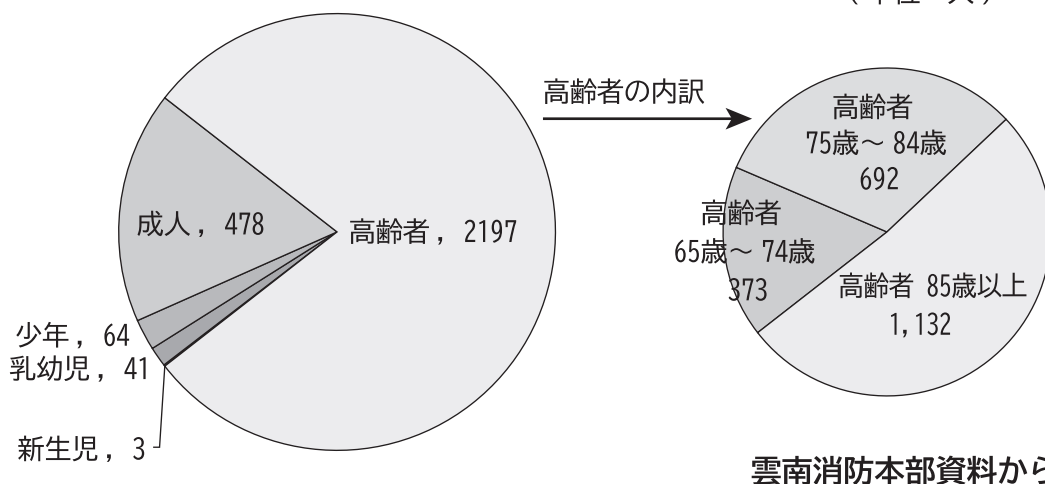
町長

地域課題を知る上で重要

令和7年雲南管内の年齢別救急搬送者数

搬送者の内、約80%が高齢者でその半分以上85歳以上の高齢者

(単位：人)



質問

令和7年度の高齢者は5081人で全人口の約50%、そのうち75歳以上は3085人、また

介護認定者は月平均で995人であり、今後10年間はこの状態が続くと思われる。元気な高齢者

も近くに人が少なくなつてくると健康維持やコミユニケーションにも益々不安が残る。まず現状を正しく把握し、実態に対応した適切な対策を打っていく必要がある。その為にも地域包括支援センター、社会福祉協議会、医療機関、介護施設、民生委員等の関係者が一緒になった地域ケア会議の必要性について問う。

町長 地域ケア会議には、個別事例を検討する地域ケア個別会議と地域課題を検討、共有し、地域づくりや政策形成までつなげる地域ケア多職種連携会議があり、年4回、医療機関、介護事業所、社会福祉協議会、行政機関等から毎回約30名が集ま

り、高齢者の在宅生活を支えるための地域課題への対応を検討している。私も地域ケア多職種連携会議を見学したが、地域課題を知る上で重要な会議であり有益だ。

質問

今後、在宅での生活に不安を感じる高齢者世帯が増えていく中で、比較的安価な高齢者向けのシェアハウスの必要性和、築後13年の旧亀高小学校にエレベータを設置して2階部分を改修整備し、活用できないか。

町長

高齢者向けシェアハウスの必要性和と空き校舎の活用については、今後地域の活性化と一緒に検討を進めていく。